

第127回秋期大会開催のご案内

第127回秋期大会は、東京工業大学大岡山キャンパスにおいて下記の日程で開催致します。なお、詳細は9月号に会告致します。

会 期	(1) 研究発表講演会	平成26年11月15日(土), 16日(日)
	(2) ポスターセッション	平成26年11月15日(土)
	(3) 表彰式	平成26年11月15日(土)
	(4) 市民フォーラム	平成26年11月15日(土)
	(5) 懇親会	平成26年11月15日(土)
	(6) カタログ・機器展示	平成26年11月15日(土), 16日(日)
大会会場	東京工業大学大岡山キャンパス 西9号館ほか (〒152-8552 東京都目黒区大岡山2-12-1 東急大井町線・目黒線 大岡山駅下車 徒歩3分)	
懇親会会場	小山台会館(〒142-0062 東京都品川区小山4-11-12 東急目黒線 武蔵小山駅西口より徒歩3分)	

第127回秋期大会講演募集

講演申込締切 平成26年7月10日(木) (23:59までに登録完了してください)
 概要集原稿締切 平成26年8月28日(木) 事務局必着

講演内容：講演は原則として未発表のもので論文としてまとめたもの。

講演分類：口頭発表（一般セッション，テーマセッション），またはポスター発表（ポスターセッション）

発表方法：(1) 口頭発表の講演時間は，原則として，発表15分，討論5分です。

(2) ポスター発表の在席時間は1時間30分で，ポスターは翌日まで展示していただきます。

(3) 口頭発表について，プロジェクトのみ用意致します（PCは持参）。

申込資格：発表者は本学会会員に限ります。非会員の方は，入会手続きをお願いします。

申込方法：ホームページ：<http://www.jilm.or.jp/>からお申込下さい。

(1) インターネットサービスに新規登録する

(2) 「講演大会・国際会議」-「講演大会」-「募集中の大会」をクリック

(3) 「講演申込」画面の内容に従い，講演申込を行う

※ 講演発表に伴い入会される方は，6月19日(木) (必着) までに入会申込書をお送りください。

また，入会申込書を送付の際には，「講演申込のために事前に会員番号が必要」とのメモを必ず添付して下さい。通常の入会処理では，会員番号がお手元に届くまで1か月以上かかりますので，ご注意下さい。

※ 講演申込にあたって，講演形式を，口頭発表／ポスター発表／どちらでもよい の3つから選択いただけます。そのあと講演分類を選択いただけますので，どちらでもよいを選択された方は，講演分類ではP以外を選択して下さい。また，テーマセッションは口頭発表のみ受け付けますので，テーマセッションを希望される方は必ず口頭発表を選択下さい。

ポスターセッション充実の目的は，口頭発表によるパラレルセッションを可能な限り解消するためであり，50件程度のポスター発表を見込んでおります。次頁のポスター発表募集をご覧下さい。多くのポスター発表申込を期待しております。

講演発表料：2,000円 テーマセッション，ポスターセッションも同じです。

(講演申込と同時に郵便振替，小為替または現金書留でご送金下さい。)

郵便振替口座番号：00100-3-66805 (加入者名：一般社団法人軽金属学会)

問 合 先：一般社団法人軽金属学会 事務局 〒104-0061 東京都中央区銀座4-2-15 塚本素山ビル6階

Tel (03)3538-0232 Fax (03)3538-0226 E-mail: shomu@jilm.or.jp

第127回秋期大会ポスター発表募集

軽金属学会講演大会のポスターセッションを充実させております。
—学界、業界を問わず奮ってご応募ください—

- * 優秀ポスター発表賞を**軽金属学会会長名で表彰**
- * 表彰者を学会誌「**軽金属**」および「**学会ホームページ**」に写真入りで紹介
- * **学界、業界を問わず**、正会員からのポスター発表も表彰の対象
- * ポスター発表時間：**1時間30分** 十分なディスカッションが可能

実施方法

- (1) 対象者：正会員，学生会員の希望者。ただし、同一発表者による複数のポスター発表はできません。講演申込の際、講演分類はPを選択して下さい。
- (2) ポスターサイズはA0版（幅841mm×高さ1189mm）が標準。パネルの前に机は置けません。
- (3) 在席時間は1時間30分とする。ポスターは9:00から12:00までに掲示を済ませ、翌日12:00まで展示します。15:00以降に残っているポスターは撤去します。
- (4) 概要集に掲載するので、講演発表者と同様、概要原稿を提出する。

ポスター発表料：1件につき2,000円（申込と同時に郵便振替，小為替または現金書留でご送金下さい。）

第127回秋期大会テーマセッション講演募集

第127回秋期大会では、下記の6テーマでテーマセッションを企画致しました。テーマセッションは、キーンノート講演と一般講演で構成され、充実した討論を通じて参加者相互の実りある情報交換の場を提供することを目的としています。奮ってご応募ください。

T 1：シンクロ型LPSO構造の材料科学Ⅱ

趣 旨：高強度・高耐熱性のLPSO型マグネシウム合金がわが国で開発され、基礎と応用の両面で研究開発が進められています。2011年からは、文部科学省・新学術領域研究「シンクロ型LPSO構造の材料科学」が5年間の予定で開始され、LPSO型マグネシウム合金の強化相であるLPSO構造相の原子配列構造、形成機構、力学特性と新強化原理の解明に向けた基礎研究がオールジャパンで進められています。2012年の秋期大会では、テーマセッション「シンクロ型LPSO構造の材料科学」が企画され、活発な議論が行われましたが、それ以降、基礎的理解が大きく進展しました。そこで、本テーマセッションでは、LPSO型マグネシウム合金ならびにシンクロ型LPSOに係わる最新の研究成果について講演を募集し、LPSO型マグネシウム合金とその実用化への展開、ならびにシンクロ型LPSO構造の原子配列構造、形成機構、力学特性等について議論を深めます。

世話人：河村 能人（熊本大学），東田 賢二（九州大学），古原 忠（東北大学），相澤 一也（(独)日本原子力研究開発機構），大谷 博司（東北大学），神山 崇（大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構）

T 2：押出加工の高精度化とその周辺技術

趣 旨：自動車，鉄道車両，航空機などの輸送関連分野における構造用部材や機能部品の加工法として、アルミニウムやマグネシウムなどの押出加工が積極的に適用され、押出加工製品の高度化やコスト低減に対する要求は急速に増大しており、材料、プロセスあるいは製造技術など様々な角度から押出加工技術の変革が求められている。本テーマセッションでは、押出型材の表面欠陥の抑制など従来の押出加工技術の高精度化と、時代の要請に対応した機能的な押出加工技術の創成とその周辺技術に関する講演を幅広く募集いたします。

世話人：高辻 則夫（富山大学），市之瀬 晃（(株)UACJ），橋本 清春（三協立山(株)）

T 3：アルミニウム中の水素の分析技術

趣 旨：アルミニウムおよびアルミニウム合金中の水素は、ミクロポア中にガス状または格子間に原子状で存在し、材料の機

械的特性や表面品質に影響を及ぼすことが知られており、アルミニウム中の水素量および存在状態の最適化が不可欠となる。そのためには水素量を正確に測定する必要があるが、水素量の測定方法にはいくつかの手法があり、測定方法や前処理条件により測定値が異なる傾向があることが知られている。平成23年度に発足した「アルミニウム中の水素研究部会」ではアルミニウム中の水素量測定法の信頼性向上のため、測定装置間の比較、前処理条件、校正の影響に関して検討を行ってきた。本テーマセッションでは、本研究部会での検討結果を報告するとともに、アルミニウムの諸物性に及ぼす水素の影響とその分析手法に関する研究発表を広く募集する。

世話人：児島 洋一 (株UACJ)、伊藤 吾朗 (茨城大学)、梅田 秀俊 (株神戸製鋼所)

T 4：難燃性マグネシウム合金展伸部材創製のための最新技術開発

趣 旨：汎用マグネシウム合金 (Mg-Al系合金等) にカルシウムを添加した合金 (難燃性マグネシウム合金) は、汎用マグネシウム合金よりも著しく高い難燃特性を有するため、高い安全性が必要とされる鉄道車両構体等の輸送機器や建築部材等への適用が検討されつつある。本セッションでは、難燃性マグネシウム合金展伸部材を作製するための最新技術開発に焦点を当てる。例えば、機械的性質や塑性異方性を改善するための合金設計技術や塑性加工・熱処理技術、継手効率を改善するための接合技術、材料モデルの開発や変形特性の解明、腐食特性を改善するための表面処理技術等に関する最新の研究成果を広く募り、討論を通じて今後の方向性を探る。

世話人：鎌土 重晴 (長岡技術科学大学)、宮下 幸雄 (長岡技術科学大学)、藤井 英俊 (大阪大学)、
松村 健樹 (ミリオン化学株)、千野 靖正 ((独) 産業技術総合研究所)、森 久史 ((公財) 鉄道総合技術研究所)

T 5：成形シミュレーションの高精度化技術

趣 旨：自動車等輸送機は、意匠性の問題から複雑な形状を求められている。よって、シミュレーションを有効活用し、複雑な形状でもプレス成形を可能とし、かつ、金型設計からプレス成形し、部品取得までの時間短縮化が進んでいる。アルミニウム合金板は、鋼板と比べ成形性は劣り、鋼板と同様の材料モデルを活用しただけでは、忠実に成形挙動を予測することができず、成形不具合を完璧に予測することはできていない。アルミニウム合金板の成形予測の精度向上は、アルミニウム合金板特有の材料モデルを見出すことが必要となる。本テーマセッションでは、平成23年度から開始した研究部会「成形性評価シミュレーションに関する技術開発部会」の成果報告も含めて、アルミニウム合金板の成形シミュレーションの高精度化のための新しい手法や解析に用いるための材料モデルを提案する。成形シミュレーションの高精度化技術に関する研究発表を広く募集する。

世話人：櫻井 健夫 (株神戸製鋼所)、桑原 利彦 (東京農工大学)、宇都宮 裕 (大阪大学)、西田 進一 (群馬大学)、
山中 晃徳 (東京農工大学)

T 6：軽金属の先端的表面の創成とその機能

趣 旨：アルミニウム、マグネシウム、チタンなどの軽金属の特徴は、その表面に酸化皮膜を比較的簡単に生成させることができ、その皮膜の物理的、化学的性質を制御することで、意匠性や耐食性をはじめメンブレンフィルタなど、極めて広範囲の機能を与えることができることである。本テーマセッションでは、このような軽金属に対して先進的に制御された表面の構築方法や表面特性に関する最新の研究成果を幅広く募集する。

世話人：世利 修美 (室蘭工業大学)、小野 幸子 (工学院大学)、阿相 英孝 (工学院大学)、春名 匠 (関西大学)